



12月19日(木)・20日(金)の2日間にわたり、17人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属党派名（無会派は会派に属さない議員）

水道事業



河原井 始
(クラブ21)

質問 旧桐生市の上水道の取水割合は。

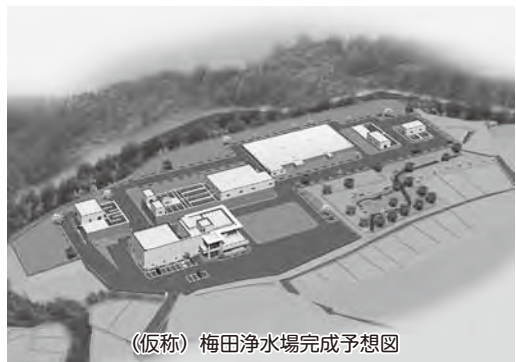
答弁 元宿浄水場が77・54%、上菱浄水場が22・46%となっている。

質問 元宿浄水場の自家発電機能は。

答弁 運転可能時間は通常の負荷をかけた時で約22時間である。

質問 元宿浄水場の立地及び浸水対策は。

答弁 桐生市水害ハザードマップによれば、元宿浄水場は想定最大規模の大雨が降った場合には、3〜5mの浸水が想定される。具



(仮称) 梅田浄水場完成予想図

体的対応策としては、浄水場を高台へ移動させることしかなく、早急に実施するには現実的ではないため、対応に苦慮している。今後は堤防のかさ上げなどの対応策が有効と考えられるので、国土交通省と協議したい。

質問 元宿浄水場の取水量を減らし、(仮称)梅田浄水場の取水量を最大限まで増やすことを提案するが見解は。

答弁 第3期工事まで進めることが前提であるが、まずは第1期工事を完成させたうえでその後の稼働状況や社会情勢、水需要の動向など多方面から検討し協議し、たうえで決定したい。

ワンストップサービス



藤 英 人
(創志会)

質問 死亡時の申請手続きは、特に簡単

があるが、ワンストップサービスの導入について当局の見解は。

答弁 ワンストップサービスの導入は、複数

の申請・届出が必要な場合にも一か所で手続きを終えることができるため、今後導入に向けた研究を行っていききたい。

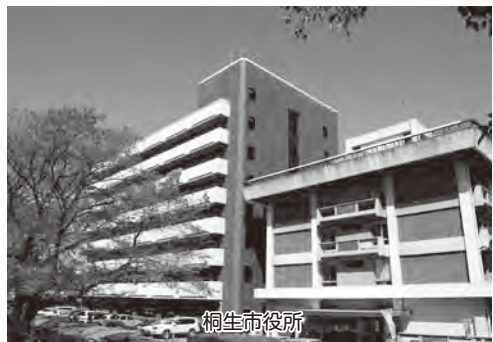
幼児の英語教育の拡大

質問 2020年の新学習指導要領

で児童へ英語教育が拡大されるが、このタイミングで、市内公立幼稚園7園の全てで、来年度から英語教育、特に英語遊びを実施できないか。

答弁 幼児期から英語に親しむことは、今後の教育を考

たときに、多くのメリットがあると考えている。このため、来年度から小学校での英語教育が全面実施されることを鑑み、市立幼稚園で、現在も行っているALTの月1回程度の訪問については、今後も継続していききたいと考えている。また、現在民間団体に協力をしていただいている西幼稚園、相生幼稚園での取り組みについても、来年度より市立幼稚園7園全てで実施できるよう準備を進めており、幼稚園での英語に親しむ活動のさらなる充実を図り、市立幼稚園についても質の高い保育と魅力ある幼児教育を展開していききたいと考えている。



桐生市役所



丹羽 孝志 (公明クラブ)

避難所情報

質問

台風19号で緊急避難勧告が発令されたが、各避難所の収容

人数や駐車台数の情報が市民に公開されていれば混乱が起らなかったと思う。避難所情報の周知方法についてどのように考えているか。

答弁

今回は避難勧告の対象地域の人々が身近な避難所を目指し避難されたため、周辺で



避難所の様子

交通渋滞が発生し、避難所に入れなかった人もいた。今後は適切な避難行動に結びつく情報発信、住民自らが避難行動に移行できるような手法や伝達方法など、避難所情報の発信内容について検討してまいりたい。

安全運転支援装置

質問

高齢者の事故防止対策が急務とな

っている中、高齢化が進む本市にとって高齢者のブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故対策は緊急な課題である。そこで現在注目されている安全運転支援装置購入者への助成を行う自治体が増えているが、当市の助成の考えは。

答弁

国が「安全運転サポート車」や「後付けのペダル踏み間違い時加速抑制装置」の購入に対する支援を行うという動きがあるが、現段階では詳細が不明なため、引き続き国の動向を注視しながら、市の助成制度の導入について研究してまいりたい。



正 男 (そうぞう未来)

マイ・タイムライン

質問

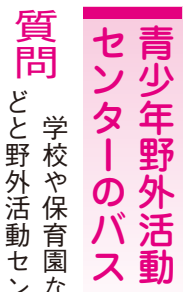
「マイ・タイムライン」とはどのようなものか。また、市民への周知方法は。

答弁

「マイ・タイムライン」とは、住

民一人ひとりの防災行動計画のことである。台風の接近や河川の水位上昇等にあわせて、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列に整理し、取りまとめる行動計画表のことであり、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待できる。ホームページや広報きりゅうでの周知及び情報提供を引き続き行うとともに、周知方法についても研究したい。また、出前講座や各地区で実施されている防災の訓練等でも有効性を訴え、より分かりやすい「マイ・タイムライン」の作成をサポートしていくように努めたい。

「マイ・タイムライン」とは、住民一人ひとりの防災行動計画のことである。台風の接近や河川の水位上昇等にあわせて、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列に整理し、取りまとめる行動計画表のことであり、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待できる。ホームページや広報きりゅうでの周知及び情報提供を引き続き行うとともに、周知方法についても研究したい。また、出前講座や各地区で実施されている防災の訓練等でも有効性を訴え、より分かりやすい「マイ・タイムライン」の作成をサポートしていくように努めたい。



野外活動センター

青少年野外活動センターのバス

質問

学校や保育園など野外活動センター間の送迎以外にもバスは利用できるのか。

答弁

活動プログラム

の中でバスでの送迎を希望する場合は、その旨を事前に「活動プログラム」及び「バス利用承認申請書」に明記していただくが、学校等と野外活動センターの間の送迎利用の他に、野外活動プログラムを行う中で、カヌー教室での梅田湖の送迎や、ウォークラリーでの梅田台緑地公園への送迎などでも利用できる。



見 武 男 (創志会)

成人式

質問

成人年齢の引き下げに伴い、成人

答弁

名称については、

成人年齢が18歳に引き下げられた後、20歳での式典を「成人式」とするのは、違和感がある。今後は「はたちの集い」や「はたちを祝う会」等に名称を変更し、開催したいと考えている。



成人式

成人年齢の引き下げに伴い、成人式の名称等変更となると思うが、今後の方針は。

桐生を好きなきどもを育てる

質問

教育分野における今後の方針は。

答弁

まずは、指導者である先生方が当市の魅力について十分に理解する必要があると考えている。そのために、地域理解研修として、新規採用教員や桐生市外から転入した先生方、さらに、当市のことをよりよく理解したい先生方等を対象に、当市の歴史や

文化に関する講話を聞いたり、重伝建群を見学したりする研修を実施している。



渡辺 恒
(日本共産党議員団)

子ども・子育て

質問

男性の育児参加推進は、大変重要なことと考えるが見解は。

答弁

国では男性の育児参加を「すべての女性が輝く社会づくり」に欠かせないものと位置付けており、「女性活躍加速のための重点方針2019」には、男性の育児休業等の取得促進や男性の家事・育児等への参画について国民全体の機運醸成などが盛り込まれている。当市においても、男性の育児参加促進は、男性の育児休業の取得などにみられるように、社会全体で取り組まなければ解決できない問題であると捉え、今後も社会的機運醸成を図るなど積極的に活動し



育児をする父親

質問

ママ&パパ教室、離乳食講座、かみかみ教室などは平日の昼間に実施されているが、父親は仕事を休むことができない。土日や夕方等、父親が参加できる時間帯に設定できないか。

答弁

ママ&パパ教室の一部は土曜日に実施しているが、助産師や栄養士を外部にお願いしていることから曜日や時間帯の変更については、スケジュール・人員配置等の調整や費用対効果の検証が必要ため研究したい。

○その他の質問項目

- ◆台風19号による被災の復旧と水害対策について
- ◆おりひめバス・公共交通の充実について



田島 忠一
(そうぞう未来)

動物園

質問

ミーアキャット舎の展示の改修にあたり、どのような工夫をしたのか。

答弁

展示の工夫については、ミーアキャットの特徴である「2本の後ろ脚で立ち上がる姿」がより身近にみられるように改修を行い、アクリル板を設置することで、寒さに弱いミーアキャットを冬の冷たい風から守れるように工夫をした。

質問

桐生が岡動物園では、ミーアキャットを、群れで展示



ミーアキャット

答弁

現在のミーアキャット舎では、大きな群れでの展示は難しく5、6頭程度の飼育展示であれば可能である。

市営住宅の現状

質問

老朽化した木造市営住宅で、入居者がいなくなった住宅に関して、解体等の予定があるのか。

答弁

老朽木造住宅団地については、「桐生市公共施設等総合管理計画」個別計画骨子において廃止を検討することにしており、廃止を進める上では、建築年数や現在入居している戸数が少ない団地、また、団地の跡地利用も考慮し移転などの協議も進めながら、最終的に入居者がいなくなつた団地から順次解体をしていきたいと考えている。



園田 基博
(創志会)

移動支援事業

質問

移動支援事業の利用拡大についての要望をどのように把握し、施策に反映するのか。

答弁

ボランティアの集いで通学への利用という話をいただいた。桐生市地域自立支援協議会子ども部会において実施した「通学に関するアンケート」は、特別支援学校等に通う児童生徒の保護者を対象にしたもの



特別支援学校の送迎バス

であり、学校側の通学の受入れ時間の関係で送迎を行う働く親が厳しい状況であるとの意見も伺っている。県立桐生特別支援学校の通学の受入れ時間の変更については、当市教育委員会とも連携し県に働きかけていきたい。

質問

障害を持ついる人の家族が病気で通学等の送迎ができない場合もある。今後どのように意見を取り入れて進めていくのか。

答弁

原則、通学利用での移動支援は認めないが、親が病気等で一時的に送迎が難しい場合は利用を認めている。また、グループ支援は、障害者一名に対し介護者一名で複数のグループで利用する場合は認めている。今後は移動支援事業の利用促進を図るとともに、制度内容の研究を行ってまいりたい。

○その他の質問項目

- ◆当市独自の国際化に向けた言語教育の外部指導者とプログラムの導入についてなど



飯島 英規 (無会派)

台風19号から見たもの

質問

当市のふれあいメールやツイッターに渡良瀬川、桐生川のライブカメラと水位情報グラフへのリンクを張っていただけないか。

答弁

台風19号の際の当市の情報発信としては、当市のホームページのトップ画面全体を、災害用に特化したトップページとして切り替えることにより対応した。その災害用トップページには緊急情報や災



台風19号による被害

害に関する最新情報等を掲載し、それらの情報をクリックすると、鉄道やおりひめバスの運行状況、道路の通行止めや停電情報などのライフラインの情報確認できるものとなっている。今後は、これらの情報に気象情報や河川の水位及び土砂災害警戒情報やダムの放流情報など、災害時に市民が知りたい情報のリンクを追加するとともに、市民の意見を聞きながら検討したい。

質問

災害時、市民にぜひお願いしたいことは。

答弁

災害時には、まず「自分の命は自分で守る」という「自助」の防災意識を高めていただくことが肝要である。また、普段から地域で顔が見える関係を築いていただき、いざというときに、隣近所の助け合いや避難所の運営など、「地域のこと」は地域で守る」という「共助」の力を発揮できるようにお願いしていきたい。



石渡 宏明 (創志会)

高校生の国際交流等の実態

質問

国際化が加速する中、市内高校生で海外研修・留学体験をした生徒数及び挑戦する高校生が増えない理由は。

答弁

平成30年度市内の公立高校では、約3500人の生徒数のうち85人の生徒が海外研修・留学に参加した。参加者が増えない理由は、経済的な負担、保護者の理解、留年に対する懸念、海外生活への不安等があり、また高校生の段階では、自らの進路や将来設計が定まっておらず、まずは勉強や部活動を頑張り、大学に入学してからやりた

ことを考え、挑戦してみようという生徒が多いからと思われる。

質問

文部科学省初の官民協働国家プロジェクト「トビタテ！留学JAPAN」は、支援企業等からの



高校生の海外研修の様子

寄付金を原資とした返済不要の奨学金や自らが留学計画を立てる、といった一線を画したものであり、またクラウドファンディングによる経済的支援・応援等を行っている自治体も多くあるが、当局の見解は。

答弁

海外留学を実現させる支援プロジェクトは、海外を志す生徒にとって大変良い制度であると考え、市立である桐生商業高校では周知をしている。クラウドファンディングについてもプラスになると考えられるため、学校の実態等を把握しながら研究をしていきたい。



新井 達夫 (そうぞう未来)

ふるさと納税

質問

ふるさと納税の返礼品の見直しはどのように行ったか。

答弁

返礼品については桐生商工会議所繊維部会に対してアンケートを実施し、提供可能な繊維製品の把握を行った結果、市内5社から7品目の返礼品候補の回答があり、これら全ての製品を返礼品として採用し、令和元年12月から寄附者にいづれか一つを選ぶこ



ふるさと納税の返礼品

とができるように制度の見直しを行った。なお、一般の法律改正により返礼割合が明確に「寄附額の3割以内」と規定されたので、これまで贈呈しているキノピーグッズや黒保根産のお米などに加えて繊維製品を送れるのは2万円以上の寄附者とした。また、同じく法律改正により、市内在住者には返礼品を贈呈できないことが規定されたため、返礼を行う対象は、市外在住者である。

台風19号

質問

梅田3丁目の高園寺付近山林の土砂流出箇所における復旧進捗状況は。

答弁

早急に土砂流出を防ぐ目的で、群馬県により応急治山事業として、丸太柵の設置が行われた。また群馬県治山事業の本格工事のための測量業務委託を令和元年12月に発注し、測量による結果で工法が決まり、令和2年4月に着工予定になると聞いている。



山之内 肇
(公明クラブ)

糖尿病性腎臓病 重症化予防

質問

医師会との連携を軸に、当市の特性を踏まえた仕組みの構築により、さらなる充実化を望むが、見解は。

答弁

現在、県のプログラムに基づき、医師会と協議しながら、当市の状況に合わせ、事業を展開しているが、新たな取り組みとして、検査やレセプトのデータを使用し、対象者抽出と管理を行い、受診勧奨から生活習慣改善による重症化予防のための保健指導までを行いたいと考えており、医療機関と連携した事業の体系化を図り、令和2年1月の医師会への説明会を経て、全体事業を開始する予定である。

災害時等の情報 提供強化

質問

命を守るための情報に、誰一人漏らさず接することができ体制の構築のため、災害情報を電話で確認できる災害情報案内サービス及び、表示速度などに優れた防災アプリの導入を早急に進めるべきでは。

答弁

新里、黒保根地区の防災行政無線のデジタル化への更新事業とあわせ、すでに消防本部で導入している自動応答による「災害情報テレホンサービス」のように、避難所開設の状況などが入手できるような機能の整備などについて研究しており、防災アプリについても、効果が見込まれることから引き続き、研究していきたい。



避難所の様子



佐藤 幸雄
(創志会)

新里社会体育館等

質問

体育館の照明器具の改修について。

答弁

体育館は社会体育のみならず新里中学校も日常的に利用しているため、なるべく早い時期に改修に向けて検討したい。

質問

体育館の北駐車場及び周辺の整備について。

答弁

駐車台数の確保及び利便性の向上



新里社会体育館

質問

と安全性の確保を図るため、駐車場の舗装と駐車スペースの区画線工事、照明の増設等が必要と思われるため、今後計画的に整備を検討したい。

質問

毒島基金の使途に対する見解について。

答弁

使途については提案も含め利用者や地域の方々の声を聞きながら優先順位を定め、できる限り利用者のニーズに叶うように活用したいと考えている。

新里町小林交差点

質問

交差点改良後の歩行者用信号機の設置の見込みについて。

答弁

交差点の工事が完了すると交差点南側に歩道が新設され設置場所等の諸条件が確保されるため、学校やスクールゾーン対策委員会と連携し警察へ要望したい。

質問

グリーンベルトの整備による安全対策について。

答弁

路線の拡幅計画を見据えながら整備してまいりたい。



久保田 裕一
(そうぞう未来)

夜間中学校の誘致・設置

質問

廃校などに県立夜間中学校を誘致することにより、県内全体から学生が集まり、新たな賑わいに繋がるものと考え、夜間中学校の誘致・設置について当局の見解は。

答弁

夜間中学校を設置することにより、何らかの理由で義務教育を受けられなかった人や、本国で義務教育を修了していない外国籍の人に対して教育の機会を提供するとともに、不登校となつている学齢生徒に対しても、多様な教育の機会を確保することに繋がると考えているが、課題もある。一人ひとりに応じた、きめ細かな指導に対応するために、どのような専門性を有したスタッフがどのくらい必要になるのかも含めて、県教育委員会では現在ニーズ調査等を行っている。

質問

今年度中に県道前橋大間々桐生線の新里町内における歩道整備がおおむね完了するものと理解しているが、中学生の自転車通学の安全を考え、整備後の歩道は「自転車通行可」の取り扱いとなるのか。

答弁

桐生警察署に確認したところ、「自転車歩道通行可」となるよう検討しているとのことである。



新里町内小林交差点

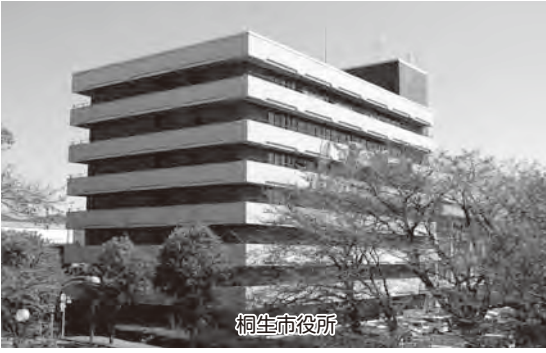


関口直久 (日本共産党議員団)

地方創生加速化 交付金事業

質問 平成28年度に株式会社ニュートロンスターに交付した約8000万円の交付金に係る事業内容は。

答弁 新たなIoT特化型エンジンである「Waシステム」のベースエンジンを開発し、桐生のまちなかを舞台とするエンターテインメント性の高いGPSゲームアプリの製作及び観光客の



桐生市役所

利便性向上や観光情報の効果的な発信等を図る観光ガイドアプリを開発した。これらの魅力や面白さなどを効果的に発信するための各種情報発信やプロモーションも行った。
質問 交付金活用終了後、株式会社ニュートロンスターが提供するサービスが中断しているが、当局の見解は。
答弁 サービスが中断している状況は、大変残念である。交付金活用終了後、事業継続されておらず、成果が見えない状態となっているのは、企業側の責任もあるものと考えている。当局として企業側の状況確認や把握が十分であったかという点で、反省しなければならぬ。
また、本事業に関して支出した補助金は、平成28年度に実施された事業内容に対して支出したものであるため、現状だけをもって返還を求めることは難しい。今後も、必要に応じて顧問弁護士にも相談したいと考えている。



近藤芽衣 (そうぞう未来)

避難所

質問 台風19号を経験し、今後、地域防災計画を見直すというところだが、新市民体育館を避難所として利用する考えは。
答弁 令和2年度中にオープン予定の新市民体育館は、河川氾濫による浸水想定区域外であることや土砂災害による危険性もないこと、かつ耐震性を備え、フロアーに冷暖房も完備される施設になることから、今後は新たな防災拠点として位置づけ、この地域に住んでいる人でも利用することが出来る避難所となるよう検討したい。

における整備計画及び表示の色の統一については。
答弁 令和元年度の実施予定箇所は、新川橋線の樹徳高校交差点から桐生第一高校交差点までの0・9kmの区間である。来年度以降の矢羽根型路面表示の色は、平成31年3月に群馬県が策定した「群馬県自転車活用推進計画」に基づき、県内はベンガラ色で施工することになった。また、現在施工されている青色の矢羽根型路面表示については、経年劣化等による更新の際には、ベンガラ色に統一となる計画である。関係部署と連携を図りながら周知したい。

矢羽根型路面表示

質問 矢羽根型路面表示での自転車通行空間の整備が進んでいるが、今後の市道



矢羽根型路面標示



司代 歌代 (無会派)

台風19号への対応

質問 避難所の開設、運営に従事した職員数は。
答弁 避難所への物資の輸送、保健師による避難所の巡回を含めると196人の職員が従事した。その他、避難所となった学校の教職員の協力もあった。

質問 夜間、休日など、「避難所に職員がいないう場合」や「避難所直行職員」が交通状況により、対応できない場合の避難所開設、運営は。
答弁 夜間、休日などは、各指定避難所に直行職員が3人ずつ配置されているので、まずは、その職員が対応する。また、避難所

直行職員が、何らかの理由で、対応が困難な場合、安全安心課に指定避難所の鍵や携行物品が常備してあるので、他の職員が代わりに対応することを想定している。
質問 各避難所の連絡、連携において、どのような課題があるかと認識しているか。
答弁 今回の台風19号では、職員間で他の避難所の避難者数や河川の状態など、情報が共有できなかったため、今後は、職員用のふれあいメール等を活用し、職員間で情報共有を行い、避難者数が多い避難所において、近隣の避難所へ誘導を行えるようにするなど、現場での課題を把握し、避難者への配慮を円滑に行えるように検討していきたい。



避難所の様子